

紅梅會會報



第 101 号

会長あいさつ

60 回生 三上 れつ



第 71 回紅梅会総会（5 月）で、会長を仰せつかりました厚生女子学院 60 回生の三上でございます。

藤村龍子前会長ならびに前役員・委員会の活動内容を引き継ぎ、慶應看護同窓会の発展のために微力ではございますが、新メンバーと共に最善を尽くしてまいりますので、今後とも紅梅会活動へのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、会員の皆様のお手元に本会報が届くころには秋ですが、この夏はいかがお過ごしになりましたでしょうか。2014 年度前半は、「集団的自衛権」の論議や 6 月末にひょうが降り積もる異常気象、大雨による土砂災害など、不安定な毎日が続きました。

そのような中、明治・大正・昭和という時代に生きた村岡花子氏の生涯をドラマ化した NHK の「花子とアン」を、大正時代に開設された慶應看護の教育の様子とつい比較してしまいました。当時のことは記念誌などでしか伺い知ることはできませんが、わが国の看護歴史研究をしている先生方から、先輩諸姉が「慶應のお嬢様」と呼ばれていたこと、礼儀・接遇ではことのほか高い評価を受けていたことを伺います。“ごきげんよう”という挨拶はもちろんのこと、患者様への言葉づかいも敬語をきちんと使い、作法なども徹底されていたようです。

2018 年に 100 年を迎える慶應看護は、最高学府での看護教育をするまでに発展してまいりました。これを機会に、慶應看護が自他ともに認められるように、「気品の泉源」「智徳の模範」などの精神について、大切に継承していくことの必要性を痛感しております。また、慶應医学 100 年を記念して新病院棟建設事業も進行しておりますので、紅梅会としても協力していきたいと考えております。

◆ 今期紅梅会の事業計画

今期の最重要課題は、慶應看護 100 年記念事業を成功させるための資金捻出です。

皆様のお手元には、すでに募金趣意書と募金要綱等が郵送されていると存じます。

1918 年（大正 7 年）に開設された慶應看護は、2018 年には 100 年という節目を迎えます。この間、時代の要請に応じて様々な看護教育コースが開設されてまいりましたが、『慶應』という同じ学び舎で培った精神は、看護医療学部を引き継がれております。看護医療学部は慶應義塾大学の 9 番目の学部として開設されましたが、他学部と違い 1 学年の学生数も少なく、記念事業を推進していくためには卒業生が一丸となって支援していくことが不可欠です。つきましては、募金目標額 2,000 万円の達成のために、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

◆ 第 71 回総会報告

2014 年度の事業計画は第 99 号でもお知らせいたしておりますが、本号の総会報告でその内容をご確認いただければと存じます。10 月下旬には恒例の研修会も開催いたしますので、多数のご参加をお待ちしております。

◆ 聞き取り調査に関するご協力のお願い

慶應看護 100 年記念事業の一環として、時代とともに慶應看護が大きく変化する当時の教育や実践活動につきまして、昨年先輩諸姉の皆様から聞き取り調査をしております。当時、学生係や教育・実践に携わった方々に担当者から連絡をいたしますので、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

秋号の主な内容

- ◆ 第 71 回紅梅会総会の報告 …… 2 ページ
- ◆ 新入会員の紹介・学部生の活動 …… 6 ページ
- ◆ 慶應義塾大学病院のトピックス …… 4 ページ
- ◆ 世代をつなぐ
[Link age] 活躍する同窓生 …… 7 ページ
- ◆ 看護医療学部だより …… 5 ページ
- ◆ 第 37 回紅梅会研修会のお知らせ …… 7 ページ

第71回 紅梅会総会の報告

第71回紅梅会総会報告

準備委員 学5回生 酒井 香織

2014年5月11日、104名の会員の方々にご出席いただき、東京ガーデンパレスホテルにて、第71回総会を開催することができました。厚生女子学院28回生から看護医療学部8回生まで、幅広い年齢層の方々にご参加いただき、盛会のうちに無事終了いたしました。

今年度も看護医療学部・大学病院報告、役委員会報告の後、大変活発な審議が交わされました。

講演会では、「中高年の足のトラブルとその対策～いつまでも元気に歩けるために～」というテーマで、慶應義塾大学整形外科講師である須田康文先生にお話しいただきました。外反母趾や扁平足の症状についての説明に加え、先生の行う手術映像を見せていただき、参加者は興味深そうに講演を聞いておられました。

その後、藤沢幸子さん（54回生）による乾杯あいさつの後、懐かしい学生時代の思い出話や近況報告に盛り上がりました。会の終盤では、恒例となっている阿部美津子さん（28回生）より手話を教えていただき、「四季の歌・冬」を斉唱しました。会員の絆を改めて感じるができると共に、青春時代がよみがえった方も多かったのではないかと思います。世代を超えた深い交流に時間を忘れてしまうようでした。

今回ご参加いただいた会員の皆様、並びに総会を開催するにあたってご協力いただいた方々に深く御礼申し上げます。来年度も紅梅会の発展に寄与できるよう、企画したいと考えております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



第71回紅梅会総会 審議事項報告

書記 短5回生 富岡 久子

先日開催されました第71回紅梅会総会における今年度の事業計画に対する審議内容について報告させていただきます。

慶應看護教育は2018年に100年を迎えます。2013年度より慶應看護100年記念事業委員会を設置し、慶應看護100年史編集・発行や看護ベストプラクティス研究・教育のための活動資金である募金活動を行っていくこと、そのための慶應看護100年記念事業募金発起人を明確にしていくことを審議し承認されました。

また、現在名簿には看護師育成のために尽力された日本赤十字看護の教育を受けた11名が特別会員として掲載されています。100年事業を迎えるにあたり、慶應義塾において看護教育をうけた卒業生以外にも慶應の臨床実践に携わられた方や、看護医療学部教育に貢献されている方も会員としていく提案を行い、今後紅梅会会則第5章第6条を審議し検討していくことを報告しました。

紅梅会総会に参加して

49回生 池谷 規子

五月晴れの5月11日、第71回総会に級友8名と共に参加しました。開会前より会場は和気あいの雰囲気にも包まれており、今年3月に発行されたメッセージ付き名簿が、懐かしさに拍車をかけていたように感じられました。同級生の藤村会長の挨拶では、4点の重要課題について理解を深めることができました。講演は身近で魅力のあるテーマで、外反母趾の最新の治療等も知ることができ、勉強になりました。

私は卒業後、短い間でしたが看護師・保健師として働き、40代からは看護師として老年看護を中心に働いてきましたが、常に慶應で学んだことを誇りとしてきました。毎年行っているクラス会も今年の秋で50回を数えることとなります。

さて、総会前日には東京ステーションホテルに6名で宿泊し、館内ツアーを楽しみました。総会での会食後は、恒例の阿部美津子先生の「四季の歌、手話付き冬編」を合唱しました。終了後は、恩師平松キツ子先生、藤村会長、級友8名と記念撮影、先輩を交えての二次会、とても充実した印象深い参加となりました。ありがとうございました。

2013年度 紅梅会収支決算報告

2013年4月1日から2014年3月31日 (単位:円)

△は不足額を表す

科目	予算額	決算額	増減	備考
1. 事業活動収入				
1) 会費収入	3,700,000	1,611,000	△ 2,089,000	
(1) 終身会費	3,000,000	1,020,000	△ 1,980,000	30,000×34名
(2) 年会費	700,000	591,000	△ 109,000	1,000×591名
2) 総会参加費	1,000,000	722,000	△ 278,000	
3) 広告料収入	150,000	50,000	△ 100,000	
4) 寄付金収入	0	31,000	31,000	
5) 雑収入	10,000	17,998	7,998	
(1) 預金受け取り利息	10,000	5,998	△ 4,002	
(2) その他	0	12,000	12,000	
事業活動収入計	4,860,000	2,431,998	△ 2,428,002	
2. 事業活動支出				
1) 会議費支出	1,660,000	1,177,052	482,948	
(1) 総会関連費	1,200,000	903,738	296,262	
(2) 役員委員会関連費	460,000	273,314	186,686	
① 役員会	10,000	3,583	6,417	
② 役員・委員会	180,000	136,187	43,813	
③ 編集委員会	100,000	56,133	43,867	
④ 準備委員会	40,000	11,987	28,013	
⑤ 研修委員会	50,000	29,793	20,207	
⑥ 役員推薦委員会	2,000	700	1,300	
⑦ ホームページ委員会	18,000	1,000	17,000	
⑧ 名簿作成委員会	60,000	33,931	26,069	
2) 事業費支出	1,480,000	1,538,868	△ 58,868	
(1) 研修会費	50,000	53,289	△ 3,289	
(2) 会報発行費	1,400,000	1,485,579	△ 85,579	発行部数を増刷したため
(3) 慶應看護100年記念事業準備活動費	30,000	0	30,000	
3) 管理費支出	1,480,000	1,417,754	62,246	
(1) 人件費	1,000,000	759,000	241,000	
(2) 通信費	180,000	157,574	22,426	
(3) 消耗品等費	200,000	207,512	△ 7,512	
(4) ホームページ業務委託費	100,000	53,000	47,000	
(5) 雑費	0	240,668	△ 240,668	事務関連備品(OA機器)の購入
4) 卒業記念費支出	120,000	116,398	3,602	
5) 看護医療学部支援関連費	40,000	0	40,000	
6) 連合三田会関連費	30,000	33,000	△ 3,000	
7) 予備費	50,000	5,000	45,000	
事業活動支出計	4,860,000	4,288,072	571,928	

注) 事業活動収入では終身会費収入が予算額に達することができませんでした。
 名簿作成により会員の住所が確認でき、会報発行部数を増刷しました。また、事務関連備品を買い換えました。
 会議費支出は各委員会の努力もあり支出を抑えることができました。
 結果、活動支出は予算を下回ることができましたが、収入を上回る結果になりました。

2014年度 収支予算書

2014年4月1日から2015年3月31日まで (単位:円)

△は減額を表す

科目	予算額(案)	前年(平成25年度)予算額	差異	備考
1. 事業活動収入				
1) 会費収入	3,700,000	3,700,000	0	
(1) 終身会費	3,000,000	3,000,000	0	30,000×100人
(2) 年会費	700,000	700,000	0	1,000×700人
2) 総会参加費	1,000,000	1,000,000	0	
3) 広告料収入※1	50,000	150,000	△ 100,000	
4) 寄付金収入	0	0	0	
5) 雑収入	10,000	10,000	0	
(1) 預金受け取り利息	10,000	10,000	0	
(2) その他	0	0	0	
事業活動収入計	4,760,000	4,860,000	△ 100,000	
2. 事業活動支出				
1) 会議費支出	1,680,000	1,660,000	20,000	
(1) 総会関連費	1,200,000	1,200,000	0	
(2) 役員委員会関連費	480,000	460,000	20,000	
① 役員会	10,000	10,000	0	
② 役員・委員会	180,000	180,000	0	
③ 編集委員会	100,000	100,000	0	
④ 準備委員会	40,000	40,000	0	
⑤ 研修委員会※2	60,000	50,000	10,000	
⑥ 役員推薦委員会	2,000	2,000	0	
⑦ ホームページ委員会	18,000	18,000	0	
⑧ 名簿作成委員会※3	0	60,000	△ 60,000	
⑨ 慶應看護100年記念事業委員会※4	70,000		70,000	
2) 事業費支出	4,450,000	1,480,000	2,970,000	
(1) 研修会費	50,000	50,000	0	
(2) 会報発行費※5	1,400,000	1,400,000	0	9月 5,500部発行 3月 5,500部発行
(3) 慶應看護100年記念事業費※6	3,000,000	30,000	2,970,000	
3) 管理費支出	1,380,000	1,480,000	△ 100,000	
(1) 人件費※7	900,000	1,000,000	△ 100,000	
(2) 通信費	180,000	180,000	0	
(3) 消耗品等費	200,000	200,000	0	
(4) ホームページ業務委託費	100,000	100,000	0	
4) 卒業記念費支出※8	130,000	120,000	10,000	
5) 看護医療学部支援関連費	40,000	40,000	0	
6) 連合三田会関連費	30,000	30,000	0	
7) 予備費	50,000	50,000	0	
事業活動支出計※9	7,760,000	4,860,000	2,900,000	

※1: 2013年度の実績を確認し、予算を再検討して減額しています。
 ※2: 2013年度の実績を確認し、予算を再検討して増額しています。
 ※3: 2014年4月に名簿作成が完成し、本年度で活動が終了になります。活動終了に伴い、委員会費を計上していません。
 ※4: 2013年度より慶應看護100年記念事業委員会を発足し、本稼働することになりました。活動に伴い、委員会費を計上しています。
 ※5: 名簿作成により会員の住所が確認でき、今まで住所不明で会報が発送できなかった会員に対して、会報発行部数を増刷しています。
 ※6: 2014年度から慶應看護100年記念事業が本稼働します。本稼働に伴い、「慶應看護100年記念事業準備活動費」から名称を変更しています。費用は資産から計上し、2014年度から3年間分の予算で、残金は翌年度に繰り越して運用します。
 ※7: 2013年度の実績を確認し、予算を再検討して減額しています。
 ※8: 2013年度の実績を確認し、予算を再検討して増額しています。
 ※9: 資産で運用する慶應看護100年記念事業費が含まれています。
 慶應看護100年記念事業費以外の本年度の事業活動支出計は4,760,000円で、事業活動収入で運用する予定です。

慶應義塾大学病院の トピックス

1. 2014年4月看護師採用状況

新採用者：124名（うち男性7名） 新卒看護師：116名（看護医療学部66名） 経験者：8名

2. 新病院棟建設事業進捗状況

（文責：85回生 梅田 光代（新病院棟開設準備室師長））

ー地鎮祭を挙行了しましたー

新病院棟建設事業は、6号棟解体作業が2014年3月で終了し、4月より新病院棟の建設が始まりました。5月12日には、建設予定地である6号棟他跡地において地鎮祭を執り行いました。清家塾長をはじめ義塾関係者、設計施工を担う竹中工務店、設計管理監修を担う日揮株式会社など100名を越す列席者の下、須賀神社の宮司により神事が滞りなく進められました。

ー慶應オリジナル患者用洗面台の作成ー

I期棟建設と同時進行で新病院棟内の設計も進められています。患者さんが毎日使用する病室内の洗面台は、机上の図面だけでは大きさや使い勝手の評価が難しいため、どのような形状にすれば水はねや汚れを少なくし、且つ車椅子の方にも使いやすい高さになるのか、実器をモックアップルームに仮設置し、器具メーカーや設計者と協議を進めています。検証を行ない慶應病院オリジナル洗面台を設置する予定です。



2014年5月 6号棟他解体跡地
(7号棟側から撮影)

3. 入退院センターの活動

2年前に設置された当センターでは、医師、看護師（認定看護師：がん性疼痛、緩和ケア、皮膚排泄ケア、透析看護、摂食・嚥下看護、退院調整看護師）、ソーシャルワーカー、事務員、薬剤師がチームを組み一貫した医療サービスの提供を目指しています。特に、病床稼働、調整を中央でコントロールし稼働率の適正化に貢献しています。また、今年度はソーシャルワーカーが2名増員され、積極的に退院調整や病院のネットワーク作りに取り組んでいます。

ー設置目的ー

- ①患者さんの入院から退院まで一貫した統合チーム医療サービスを提供することにより、患者さん一人ひとりに適切な医療を提供できる体制を目指す。
- ②病床管理を中央一元化して病院の適正病床稼働率および回転率を保持するように調整することにより、慶應病院の経営基盤に寄与する。



入退院センターのメンバー

4. 「がん看護」活動紹介 ーがん患者の子どもへのサポートチーム：SKiP ー

（文責：74回生 近藤 咲子（9S病棟師長））

地域がん診療連携拠点病院の活動として、「がん患者の子どもへのサポートチーム：SKiP（Support team for Kids of Patients with Cancer in Keio）」が誕生しました。チームメンバーは看護医療学部教員・看護師・精神科医師・MSWで構成されています。平成26年9月にCLIMB®プログラム（※）を開催する予定です。

ー活動目的ー

- ①がんの親をもつ子どもたちを集め、一緒に絵を書いたり工作をしながら同じような状況の仲間たちと自分の状況や気持ちに向き合う力を高める。
- ②当事者である患者さんとそのご家族のグループをつくり、今悩んでいることを話し合い、それに向き合える機会が作れるようCLIMB®プログラムを実施し、皆さんをサポートする。

※CLIMB®プログラム（Children's living Lives Include Moments of Bravery）：アメリカで広く用いられている、がんの親をもつ子どものためのグループワークです。ファシリテータはこのプログラムを行うためのトレーニングを受けています。

<問い合わせ先>がん相談支援センター：TEL 03-5363-3285 受付時間：月～金9：00～17：00

5. 「病院ホームページ」リニューアルしました！ <http://www.hosp.keio.ac.jp>

（78回生 鎮目 美代子）

健康情報ひろば ボランティア若干名急募！



慶應義塾大学病院外来1階薬局前

ご協力とご支援を！

- ・インフォームドコンセントを支える情報提供の場で、皆さんの力を大いに発揮してください。
- ・患者さんの身体・心の悩みに接する機会となります。
- ・詳しくはKOMPASのサイトをご覧ください。

→ <http://kompas.hosp.keio.ac.jp/volunteer.html>

問合せ先 北里記念医学図書館内 ひろば運営委員会事務局
電話 03-5363-3723 月曜～金曜（9：00～17：00）

看護医療学部だより

慶應看護同窓会紅梅会の皆様には、日ごろから看護医療学部へのご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

慶應義塾でいま力を入れているのは、これまで以上に国際的に評価される大学になるということです。そのためにも優れた研究を推進することや、国際的に活躍できる人材育成を強化しようとしています。看護医療学部においても、これまで青田様の基金から助成をいただき、毎年延べ30名の学生が海外研修科目を履修し、さらに約40名の学生が個人やグループでの自主的活動で海外での経験を積んでいます。これからは、短期間でも海外からの学生や研究者の受け入れを行い、国際交流を推進していきたいと考えています。



プライマリーヘルスケア
ーラオス研修における地元子供たちとの交流風景

2018年に迎える慶應看護100年記念事業のため、慶應看護同窓会紅梅会主体で実施して下さる募金活動には、学部をあげて連携、協力させていただきます。募金活動開始にあたり、三田での常任理事との話し合いや、慶應看護100年記念準備委員会での検討など、藤村龍子前会長のご尽力に感謝申し上げます。100年記念史編纂に関しては、紅梅会のたくさんの皆様がインタビューに応じていただくなど多大なるご協力をいただいておりますこと、御礼申し上げます。慶應看護ならではの貴重な歴史を残し、これからの発展に役立つものにするべく努めて参ります。看護ベストプラクティスラボラトリーでは、昨年のSFCオープン・リサーチ・フォーラムでセッションやポスター発表の実施、大学病院看護部との共同研究活動の推進など、着実に研究活動成果を積み上げております。

2014年3月卒業生の進路については、111名の卒業生がそれぞれの進路へ歩み始めました。そのうち慶應義塾大学病院に就職したものの66名を含めた他大学病院、一般病院など医療機関への就職は95名。地方自治体保健師7名。一般企業事務職、保健師等5名。大学院への進学は2名でした。慶應義塾大学病院では、看護医療学部、健康マネジメント研究科卒業生の割合が現職者の36%を超えていると伺い、感慨深いものがあります。

4月には、看護医療学部には104名の新入生と5名の第2学年編入生を迎えることができました。健康マネジメント研究科では修士課程48名、博士課程9名の院生を迎え、学部卒業生の進学が増えました。



第1回 pinning ceremony 集合写真

また、今年から学部では、看護医療の先導者を育成するという学部の使命を理解し、学生が自分の将来について考える機会を持つため、本格的な実習が始まる前の7月に2年生を対象に、学部のピンバッジを授与し、学生は自分の思いを表明する機会として、pinning ceremony を始めるなど、新たな試みを行うことに致しました。

慶應看護100年記念事業が成功するよう、三上れつ新会長と力を合わせ、学部一丸となって努めて参ります。これからも引き続き、看護医療学部へのご助言、ご支援を賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(看護医療学部長 太田 喜久子)

慶應義塾赤倉山荘 www.sanshikai.jp/akakura/index.html

赤倉山荘に泊まってみませんか？

雄大な自然、豊富な湯量を誇る温泉、数多くのスポーツ施設に囲まれた慶應義塾赤倉山荘には、美食・温泉はもちろんのことゴルフ、スキー、テニス、トレッキングなど季節ごとの楽しみ方があります。合宿・研修会はもちろん、ご家族やお友達と赤倉山荘へ。塾関係者のご利用をお待ちしています。

お申し込み・お問い合わせ
赤倉山荘
電話: 0255-87-3900 FAX: 0255-87-3905
e-mail: ak-ko@hyper.ocn.ne.jp

赤倉山荘管理事務室(三四会内)
電話: 03-3359-0227 FAX: 03-3358-0664
e-mail: info@sanshikai.jp

2014年3月卒業の看護医療学部10回生新入会員の紹介

井上 裕美

慶應義塾大学病院



私は慶應義塾大学病院の血液内科病棟で働いています。入職して4ヶ月が過ぎ、時には看護師という仕事の責任の重さから自信をなくすこともあります。しかし、そんな時は先輩方から温かい言葉をいただいたり、同じ境遇で頑張る同期と話をしたりすることで、また明日から頑張ろうと思う毎日です。なによりも、懸命に病と戦う患者さんの姿に励まされ、新人ながらも今できることを精一杯やろうと思うことが、一番の原動力になっています。今後も患者さんの心に伝わる看護ができる看護師へ成長するために、日々努力を重ねていきたいです。

前井 梓

株式会社 DeNA



私は現在、看護とはまったく離れた分野になりますが株式会社ディー・エヌ・エーという会社でECコンサルタントとして働いています。オンラインショッピングモールに出店している店舗様に、売上拡大のためのアドバイスをを行う仕事です。

医療からは一旦離れて、慣れない営業として奮闘する日々ですが、憧れだったIT系の仕事ということもあり、勉強しながら頑張っています。

顧客に対してサービスを提供するという事は、看護師も営業も同じだと思っています。学生時代学んだことを活かしつつ、これからも頑張ります。

宮澤 香穂

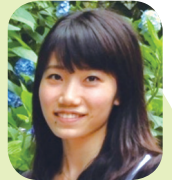
アステラス製薬株式会社



私は現在アステラス製薬で営業職として働いています。この業界に進んだのは、看護実習で臨床の現場に出て薬物療法に興味を持ったことがきっかけです。私の仕事は、正確な医薬品の情報を提供し、適正使用を推進することで、医療従事者の方々の薬物療法のパートナーとして患者さんに貢献することです。現在は研修中でまだ実際に現場には出ていませんが、医薬品や疾患についての勉強に励む日々を送っています。今後は、一人でも多くの患者さんに有効な薬を届け、患者さんの明日を変えられるように医療現場で活躍したいと考えています。

宮田 千秋

愛育病院



私は総合母子保健センター愛育病院の新生児集中治療室(NICU・GCU)で助産師として働いています。低出生体重児や早産児の赤ちゃんが、厳しい治療を乗り越え懸命に生きようとする姿に、多くのことを学ぶ毎日です。自分の知識不足、未熟さに落ち込むこともありますが、ふと赤ちゃんが見せてくれる安心した表情、赤ちゃんの成長を喜ばれるご家族の笑顔に背中を押されます。これからも赤ちゃんと家族中心のケアとは何かを考え、ご家族の不安に寄り添い、温かな環境のもとでサポートできる助産師となれるよう、日々成長していきたいと思っています。

学部生の活動

体育會弓術部での活動

私が所属している体育會弓術部は、現在、東京都学生弓道連盟のI部校として活動しています。連盟に所属する大学はI部からV部までのリーグに分かれており、東京都の上位5校がI部に集まります。毎年秋には各リーグ内の大学の順位を決定するリーグ戦が行われます。I部リーグで優勝すると、11月末に伊勢神宮で行われる「全日本学生弓道王座決定戦」という、日本一をかけた試合の出場権を獲得することができます。悲願のI部昇格を果たした昨秋を経て、現在はI部優勝、日本一獲得を目指して、日々練習に励んでいます。

私は、1年生の頃から試合に出場する機会に恵まれ、多くの経験を積ませていただきました。I部校として心新たに臨んだ本年の春シーズンは、昨年は勝つことのできなかった強豪校を相手に、自分たちが思い描く試合展開で勝つという成長を感じることができました。一方、毎年6月に行われる全関東学生弓道選手権大会では、入賞の常連校を相手に惜敗し、部の目標であるベスト4に一步及ばないベスト8という結果になり、まだまだ成長していかなければならないことを痛感しました。また、個人としては、毎年4月末に行われる、東京都学生弓道連盟が主催する女子部記録会において優勝できたことが、自信につながりました。総括してみると、自分たちの実力に自信をもつことができたと同時に、I部というフィールドで活躍するためには、心身ともに成長していく必要があると感じています。



9月中旬より、I部校として初めてのリーグ戦を迎えます。女子部にとって未踏である王座を獲るべく、高みを目指して精進して参りますので、ご声援いただけると幸いです。

(看護医療学部3年 小林 由紀恵)

同窓生が活躍する現場は、病院・企業・地域など国の内外を問わず多岐に渡り、職種も多様化しています。今回は自分が仕事をするだけでなく、定年や育児で退職した医療従事者が、再び地域で活躍できるようにと、会社を設立した会員の活動を紹介します。

助産師として会社を立ち上げました

短1回生 南田 理恵

助産師としての仕事をしながら、株式会社ママズケアを立ち上げ、今年9期目に入りました。NPOではなく会社にしたのは、女性が仕事をもって自分らしく生きていくお手伝いをしたいと思ったからです。事業としては、専門職向けに「南田式痛くない乳房ケア研修」「ベビーマッサージ講師養成講座」などの研修事業の他、行政の子育て支援事業、百貨店や写真館等のイベントでのマタニティクラスや育児セミナーの企画運営です。関西が活動の中心ですが、関東や九州にも仲間が広がってきました。



会社にして良かったことは、行政や企業とも会社同士の契約書をかわして大きな仕事にチャレンジできることや、ひとりでは時間的に限界でも、チームであれば、多くのことができるということです。大変だったことは、スタッフを養うだけの収益をあげるということです。最初はお金をいただくことに抵抗があり、経費を考えると赤字という年もありました。今では、専門職として自信をもって報酬をいただけるようにスキルアップすることが大切であると考えています。

病院に勤めていたときと違い、自分を選んでいただく大変さも実感しています。「ママと赤ちゃんの笑顔のために」を合い言葉に、指導ではなく、相手の心に寄り添う語りかけを心がけることにより、口コミで評判が広がり、ママ達に支えられて現在があると思っています。今後は、複数回の中国研修を経て確立した、中医学の知識を取り入れた乳房のマッサージ手技を広めていくために、病産院向けのセミナーや個人向けの研修を充実させていくなど、親子の愛着形成のために役立つ仕事を、仲間とともにがんばっていきます。

株式会社ママズケア URL: <http://www.mamascare.com>
TEL: 0797-51-7111

第37回 紅梅会研修会のお知らせ

テーマ：「糖尿病患者をアプリで支える！～新しい健康支援のカタチ～」

今回のテーマは“健康×IT”です。

慢性疾患と向き合うには、セルフケアがとても重要です。そのサポートの新しい形として、ITを活用した健康支援が注目されています。今回は、健康ビジネスとして、実際に携帯電話のアプリケーションを活用した健康支援を行っている谷口諭先生にご講演いただきます。

病気と向き合う中でより安心できるサポートとは？ヘルスケアを担う上で新しいケアの形とは？そんな未来の健康支援のカタチについて一緒に考えてみませんか。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2014年10月24日(金) 18:00～19:30 (17:30受付開始)

場所 慶應義塾大学信濃町キャンパス 孝養舎 202教室

研修会費 無料

対象 どなたでも参加できます

※講演後、懇親会あり(参加費500円・自由参加)

講師ご紹介

谷口 諭 氏

徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター 特任助教
(株)マイスタージャパン・ビジネスソリューションズ代表取締役

【プロフィール】

慶應義塾大学総合政策学部卒業後、教育研修会社を経て、同社を設立。食×健康リテラシーの向上を目標に糖尿病患者向けのアプリ・イベントサービス提供の他、健康サービス事業社向けのITプラットフォーム提供を行っている。同社において、日本初の患者による患者のためのクラウドファンディングによる炭水化物量検索アプリカーボデータを開発。近年では、カワチ・イチロー氏の著書『命の格差は止められるか：ハーバード日本人教授の、世界が注目する授業』（小学館101新書）などの翻訳も担当している。



2014年度紅梅会役員・委員

会 長	☆三上 れつ (60)	研 修	梶本 彩香 (学7)	役 員 推 薦	◎佐々木さな枝 (短6)
副 会 長	茶園 美香 (66)		菅原 彩水 (学7)		☆向山 陽子 (54)
書 記	櫻木麻理子 (短3)	編 集	◎江村 晴子 (短1)	ホ ー ム ペ ー ジ	☆清水 由美 (短11)
	富岡 久子 (短5)		☆倉橋 暖 (学1)		◎佐藤 絵理 (学5)
会 計	☆北村 悦子 (89)		小川 紀代 (82)		鈴木 理央 (学5)
	黒澤 真紀 (短4)		関口 梓 (学3)		☆佐藤 悠海 (学8)
会 計 監 査	☆川田 悠介 (学1)		☆萬年 由佳 (学6)		萩原 亜耶 (学8)
	赤木 紀子 (短9)	☆園部 光里 (学8)	◎☆藤村 龍子 (49)		
研 修	☆増戸 聡美 (89)	☆田久保沙樹 (学8)	☆松浦 直子 (73)	100年記念 事業支援活動	☆矢野 幸子 (83)
	◎清水 信輔 (学1)	◎江野 都美 (84)	☆荒尾みつ子 (進二8)		
	☆杉浦なおみ (短2)	武野 宏子 (短4)	☆瀧田 結香 (短7)		
	☆小柳 淳 (学4)	浅田 あや (学4)	☆瀧田 結香 (短7)		
	☆為我井美佳 (学6)	酒井 香織 (学5)	☆高橋 知彦 (学1)		
				紅梅会事務	浅田 頼子 (68)

() : 卒業回生 ◎ : 委員長 ☆ : 新役員・委員

紅梅会事務局より

お知らせ 会報はゆうメールでお届けしています

4月に完成しました会員名簿の在庫があります。購入ご希望の方は事務局までお申し込みください。電話またはFAXでお願いします。また、住所・氏名等を変更された時は、必ず事務局までご一報下さい。不在の場合は留守番電話にメッセージをお願いします。(68回生 浅田 頼子)

入室時間 月・木曜日 13時～17時 電話・FAX 03-3341-8116

2015年度前期「特選塾員推薦」受付中

2001年4月から、特選塾員規約の一部変更により、厚生女子学院卒業生も特選塾員となることできるようになり、今までに247名の方が紅梅会推薦により特選塾員となられました。塾員であるということは慶應義塾卒業生のメンバーとして塾員間の交流ができるようになり、多彩なメンバーとの交流もできるようになります。

紅梅会推薦として手続きいたしますので、ご希望の方は「氏名・ふりがな・生年月日・現住所・電話番号・勤務先・回生または卒業年月」を明記して、紅梅会事務局に郵送またはファックスでお送り下さい(2015年2月28日締め切り)。

今回申込みをされた方は2015年5月末頃の決定通知となります。なお不明なことは紅梅会事務局にお問い合わせください。

訃 報

5回生 牧岡 ハル(旧姓大掛) 平成22年4月2日	38回生 齊藤 敬子(旧姓東野) 平成25年10月11日
14回生、助12回生 竹内トシ子(旧姓小宮) 平成24年10月8日	45回生 山村 コウ(旧姓佐藤) 平成18年12月
14回生、助12回生 丸山 正代(旧姓赤野) 平成21年11月26日	45回生 松原 俊子(旧姓山崎) 平成24年6月
17回生 川端みゆき(旧姓富山) 平成21年10月15日	47回生、准3回生 角田 夏子(旧姓川辺) 平成18年10月5日
18回生 津田 仁 平成25年10月25日	58回生 阿部うめ子(旧姓松浦) 平成19年6月
19回生 増田チヨ子(旧姓安西) 平成19年	62回生 鈴木真知子(旧姓田中) 平成26年3月27日
20回生 服部 久子(旧姓遠藤) 平成21年3月2日	73回生 柴田君美代 平成21年
21回生 Hall Fumiko(旧姓飯島) 平成14年7月11日	79回生 薦田 京子(旧姓松本) 平成22年
22回生 熊谷 トシエ(旧姓加藤) 平成25年12月22日	助21回生 三浦八千代(旧姓小野) 平成26年1月8日
23回生、助21回生 阿部ヨネ子 平成26年2月11日	助22回生 宇津木光子(旧姓佐藤) 平成18年
23回生 宮久保とし(旧姓藤沢) 平成25年8月15日	16回生 矢沢 幸(旧姓平沢) 年月日不明
23回生 横井 トリ(旧姓名古屋) 平成26年5月22日	21回生 谷 実枝(旧姓吉田) 年月日不明
24回生 磯崎富美江 平成24年	27回生 浜野 清子(旧姓大沢) 年月日不明
25回生 足利小千代(旧姓長沢) 平成26年3月26日	28回生 井上 恵子 年月日不明
27回生 中村 寿子 平成24年11月	31回生 永山 ヤス(旧姓高橋) 年月日不明
27回生 三武 富子 平成17年11月	37回生 木場 節子(旧姓塚田) 年月日不明
28回生 祓川 恵子(旧姓飯塚伊佐) 平成9年7月	42回生 W.Vzolyk Haruko(旧姓脇田) 年月日不明
28回生、助24回生 立川 ちゑ(旧姓三田) 平成5年10月26日	准1回生 太田百合子(旧姓菱沼) 年月日不明
28回生 宮崎 京子(旧姓万年) 平成21年	准1回生 堀口 欣子 年月日不明
29回生、助24回生 荻部 キク(旧姓野口) 平成26年3月20日	准3回生 雲村 妙子(旧姓平野) 年月日不明
33回生 稲垣 陽子(旧姓三井) 平成26年7月2日	助19回生 小森 基江 年月日不明
33回生 山本よね子(旧姓三橋) 平成26年7月3日	助22回生 石橋 静江(旧姓荒川) 年月日不明
34回生 小安 洋子 平成24年12月24日	助22回生 戸川 勢津(旧姓桐谷) 年月日不明
34回生 内田八重子(旧姓池松) 平成22年8月10日	助22回生 難波寿美子 年月日不明

編 集 後 記

この会報は、卒業回生も職場も様々な7名の編集委員が勤務後に委員会が集まり、メールで頻りに連絡を取りながら作成しています。私は短大卒業後、外部に進学・就職したため、約20年ぶりに懐かしい校舎に毎月通うという機会をいただきました。これからも世代を超えて、同じ慶應義塾で看護教育を受けた卒業生のつながりの場となるように、多くの会員の方に会報の記事を書いていただきたいと思ひます。ぜひ、ご意見・ご感想を事務局までお寄せください。また、記事を執筆していただける方のご紹介もお待ちしております。ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

編集委員 江村 晴子